

令和 7 年 8 月 18 日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

四万十町長 中尾 博憲

市町村名 (市町村コード)	四万十町 (39412)
地域名 (地域内農業集落名)	仁井田地区 (床鍋、影野(上)、影野(下)、奥呉地、魚ノ川、下呉地、替坂本、山株、六反地、神有、 辻ノ川、本田、小向・中ノ越、浜ノ川、平串・富岡)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年8月18日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

仁井田地区は高齢化や人口減少が進んでおり、担い手や後継者が不足している。また、基盤整備を行ってから時間もたっており、水路や堰などが老朽化している。今後も継続的に耕作を行っていくためには担い手の確保や老朽化した個所の改修が必要となってきている。

○各集落の現状・課題

【床鍋】担い手の高齢化、草刈り・水管理の人手が不足している。

【影野(上)】現在設置している鳥獣害防止柵では、谷川等から侵入するイノシシ・鹿などによる獣害を防げておらず、営農に支障をきたしている。また、高齢化が進んでおり、営農組織の体制づくりが急務となっている。

【影野(下)】排水の便が悪い農地があり、今後基盤整備を検討していく。

【奥呉地】入作農家が多いので、農地を返還された時の対応を検討する必要がある。また、堰や水路、鳥獣害金網柵が老朽化している。

【魚ノ川】担い手が引き受けていくために、水路・ため池・農地の整備と鳥獣被害防止柵の延長と更新が必要である。

【下呉地】現在の営農組合の組合員は6人であるが、大半が70歳前後で後継になる若い者がいないため、将来的に(株)サンビレッジ四万十へ農作業の委託の検討が必要である。

【替坂本】高齢化が進んでおり、今後の後継者の育成・確保が必要。また、水路の老朽化しているため、更新が必要。

【山株】獣害防止柵は集落全域に設置されているが、一部倒壊しており改修を行う予定。また、水路に脱落箇所もあり営農に支障をきたしている。

【六反地】国道から線路側の農地は、池の水を利用しているが、取水口からの水量が少なく、漏水もひどい。せまちが多く、水田として活用することも難しい。また、土水路が一部残っており、大雨が降ると、隣接する田畑に水が流れ込んでくる。イノシシの被害が繰り返し発生している。

【神有】山際の鳥獣被害、水路が長すぎるため水が不足しており、上下とも若い担い手がいらない。

【辻ノ川】将来的に田役をする人がいなくなる。

【本田】水路の水漏れを改修しないと田に水が引けない為、早急に直したい。

【小向・中ノ越】田役など担い手の数が減少しており、さらに維持管理が難しくなっている。

【浜ノ川】基盤整備されていない部分の水路(土溝)の改修と、六反地から引いている水路の田役にかかる担い手が減少している。

【平串・富岡】暗渠の整備、老朽化した鳥獣被害防止策の更新。担い手不足が顕著となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

当地区の基幹品目として水稻を生産している、また、その他にニラや生姜などの高収益作物の生産を継続して行っていく。

○各集落の農業の将来の在り方

【床鍋】水稻、生姜を中心に生産していく。管理の難しい農地では栗や柚子等の果樹の生産も検討していく。

【影野(上)】水稻を主要作物としつつ、大豆や生姜などの高収益作物を生産している。

【影野(下)】水稻が主要作物としつつ、生姜やピーマンなどの高収益作物を生産している。

【奥呉地】水稻が主要作物としつつ、生姜や栗、ユズなどの高収益作物を生産している。

【魚ノ川】水稻が主要作物としつつ、生姜やピーマン、ニラ、果樹等の高収益作物を生産している。

【下呉地】水稻を中心に、大豆や生姜、ピーマンなどの高収益作物を生産している。

【替坂本】水稻を主要作物としつつ、生姜や里芋などの高収益作物を生産している。

【山株】水稻を中心に生産しており、生姜や飼料米の生産も行っていく。

【六反地】水稻を中心に生産し、生姜やサツマイモ、ピーマンなどの高収益作物とWCSや大豆を生産していく。

【神有】水稻を中心に生産している。また、その他に生姜やニラ、大豆、WCSを作付けしている。

【辻ノ川】水稻を中心に、アスパラガスやトマト、大豆を生産している。

【本田】水稻を中心に、ピーマン、ニラなどの高収益作物を栽培していく。

【小向・中ノ越】水稻を主に生産している。その他にニラ、きゅうり、ショウガなどの高収益作物を生産している。

【浜ノ川】水稻を中心に、生姜やWCSなどを継続して生産していく。

【平串・富岡】水稻が主要品目、その他、ニラ、ピーマン、キュウリ、大豆、生姜などを生産している。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	338 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	271 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	132 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域内でかつおおむね10年後に耕作が見込まれる農地を農業上の利用が行われる区域とし、現在、耕作が行われておらず、今後とも農地への復旧が難しい農地を保全等を進める区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積・集約化の方針

当地区として、各集落の担い手や営農組合を中心に集積・集約化を図っていく。

○各集落の方針

【床鍋】床鍋農事組合法人や他の担い手へ農地の集積・集約化を進める。

【影野(上)】影野集落営農組合を中心にして、集落の農業経営体へ集積・集約化を図っていく。

【影野(下)】(株)サンビレッジ四万十を中心に集積・集約化を行っている。

【奥呉地】(一社)四万十農産へ集積・集約化する。

【魚ノ川】(一社)四万十農産へ集積・集約化する。

【下呉地】現状、集落の農業経営体で耕作しているが、今後は(株)サンビレッジ四万十へ協力を依頼し、集積・集約化を図っていく。

【替坂本】農地が大体隣接してまとまっているので、現状でもある程度集約がされている。ただ、一部は基盤整備して、四万十農産へ委託するなど集約化を進めていく。

【山株】営農組織や近隣集落の農業法人へ集積・集約化を図っていく。

【六反地】農事組合法人 六反地ファームと後継者を中心に集積・集約化を図っていく。

【神有】集落の担い手や営農支援センター四万十(株)へ集積・集約化を図っていく。

【辻ノ川】集落の担い手や営農支援センター四万十(株)へ集積・集約化を図っていく。

【本田】集落の担い手を中心に集積・集約化を図っていく。

【小向・中ノ越】現状の耕作者が継続して管理していくが、集落の担い手への集積・集約化も検討していく。

【浜ノ川】集落の担い手や営農支援センター四万十(株)へ集積・集約化を図っていく。

【平串・富岡】集落営農組織と営農支援センター四万十(株)を中心に農地の集積・集約化を図っていく。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

当地区として、農地の集積・集約化を図っていく際や事業を活用する際に機構の活用を検討していく。

○各集落の方針

【床鍋】担い手への集積・集約化を図っていく上で、関係機関と連携し円滑に集積が行われるようにつとめる。

【影野(上)】農地中間管理機構を通じての貸借はしてはいるが、今後集積を行っていくうえで活用を検討していく。

【影野(下)】ほとんどの農地を農地中間管理機構を通じて集積しており、今後も機構を通じて集積・集約化を図っていく。

【奥呉地】担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。また、関係機関と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

【魚ノ川】担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。また、関係機関と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。

【下呉地】現在、集落の一部で活用しており、今後も集積・集約化を図っていくうえで関係機関と連携し活用していく。

【替坂本】基盤整備をする農地を中心に積極的に中間管理機構の活用を検討していく。

【山株】集落のほとんどの農地で活用ができていないが、今後の集積を図っていくうえで関係機関と連携し活用を検討していく。

【六反地】事業の活用の際などに活用を検討していく。

【神有】現状の利用はあまりない。今後貸借を行っていく上では利用するほかない。検討はしていく。

【辻ノ川】集落の一部で活用している。集積・集約化を図っていく上で活用を検討していく。

【本田】集落の一部にて活用している。今後も集積を図っていくうえで活用を検討していく。

【小向・中ノ越】集落の一部で活用している。集積・集約化を図っていく上で活用を検討していく。

【浜ノ川】集落の一部で活用している。今後も集積や集約化、事業に取り組む際には活用を検討していく。

【平串・富岡】現状、活用なし。今後も利用する予定がないが、必要ならば活用を検討する。

(3) 基盤整備事業への取組方針

当地区として、水路や堰などの老朽化している箇所については農地耕作条件改善事業など、基盤整備事業の活用を検討していく。

○各集落の方針

【床鍋】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用することにより、担い手が管理しやすいよう基盤整備を行う。

【影野(上)】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業及び農地耕作条件改善事業等を活用し、集落内の基盤整備や水路の改修を行っていく。

【影野(下)】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業及び農地耕作条件改善事業等を活用し、集落内の基盤整備や水路の改修を行っていく。

【奥呉地】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業及び農地耕作条件改善事業等を活用し、集落内の基盤整備や水路の改修を行っていく。

【魚ノ川】担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業と農地耕作条件改善事業を活用することにより、担い手が管理しやすいよう基盤整備を行う。

【下呉地】現状、基盤整備事業を行う計画はない。今後、担い手の意向により、耕作条件を改善する必要がある場合は検討していく。

【替坂本】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用することにより、担い手が管理しやすいよう基盤整備を行う。

【山株】R7年度以降も、担い手の意向を確認し、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用することにより、担い手が管理しやすいよう基盤整備を行う。また、山側から水が流れる谷へ砂防を設置するよう要望していく。

【六反地】現在、農地耕作条件改善事業にて集落内の水路の改修を行っており、R9年度にも農地耕作条件改善事業を活用し水路の改修を行う。また、R7年度からは、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し基盤整備を行う。

【神有】集落内でオペレーターの育成を行っている。耕作を継続的にやっていくうえでは、入り作農家の受け入れも行っていく。また、R7年度以降、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し基盤整備を行う。

【辻ノ川】R7年度以降、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し基盤整備を行う。

【本田】水路の改修工事を農地耕作条件改善事業などの基盤整備事業の活用を検討していく。

【小向・中ノ越】水路の改修が必要となっている箇所については農地耕作条件改善事業などの基盤整備事業の活用を検討する。

【浜ノ川】R9年度より農地耕作条件改善事業及び農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、素掘りの排水路の改修及び基盤改良を実施する。

【平串・富岡】R7年度以降、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し基盤整備を行う。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

各集落で方針を定め、関係機関と連携し、担い手や後継者の確保・育成を行っていく。

○各集落の方針

【床鍋】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、町、JA、普及所、担い手育成センター等と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

【影野(上)】関係機関とともに営農組織の体制を整えることにより、今後の集落の農地の受入態勢や未耕作の農地を円滑に集落の農業経営体へ円滑に配分できるようにする。

【影野(下)】(株)サンビレッジ四万十がほとんどの農地を耕作しており、経営体の確保・育成は急務ではないが、集落内外の研修生を受け入れていくことで、集落営農の継続的な活動を行っていく。

【奥呉地】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。また、経営体が集落に定住していけるよう、住宅など農業ができる環境整備にも努める。

【魚ノ川】地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

【下呉地】後継者不足の問題があり、近隣集落の農業法人へ農作業の委託など協力を要請する。

【替坂本】営農組合を設立し、四万十農産へ加入したことで、四万十農産から労力提供を得られる体制を整えた。

【山株】集落内に後継者がいないため、近隣集落の農業法人などに農作業の委託することで、経営体の確保・育成を図る。

【六反地】法人の育成や担い手の確保・育成を関係機関と連携し行っていく。

【神有】入り作農家を受け入れや、オペレーターの育成を図っている。

【辻ノ川】関係機関と連携して経営体の確保・育成を行っていく。

【本田】集落の耕作条件から新たな経営体の確保は難しいが、集落内の担い手の育成に努めていく。

【小向・中ノ越】関係機関と連携し、担い手や後継者の確保・育成を行っていく。

【浜ノ川】入り作農家を受け入れや、オペレーターの育成を図っている。

【平串・富岡】以前にも集落内で検討したことがあるが、なかなか難しい。現在は集落営農組織の体制整備を図っている。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

各集落の方針に基づいて、継続的に耕作を行っていけるよう農作業委託を行っていく。

○各集落の方針

【床鍋】水稻防除、WCS収穫を営農支援センター四万十(株)へ委託している。

【影野(上)】営農支援センター四万十(株)へ水稻防除と大豆の農作業委託を行っている。

【影野(下)】(株)サンビレッジ四万十が農作業の委託を行っている。

【奥呉地】(一社)四万十農産へ防除作業、水稻の乾燥、調整及び、もみすり作業を委託している。

【魚ノ川】魚ノ川営農組合へ畔塗り、代かき、田植及び稲刈り作業を委託している。

【下呉地】(一社)四万十農産へ水稻のドローン防除を委託している。

【替坂本】水稻防除を四万十農産へ委託している。また、営農支援センター(株)とサカタへ農作業委託をしている。

【山株】農事組合法人六反地ファームへ水稻のドローン防除を委託している。また、営農組織で共同機械利用を行っている。

【六反地】農事組合法人六反地ファームへ農事組合法人六反地ファームへ防除用ドローンでの共同防除を委託している。

【神有】農事組合法人六反地ファームへ防除用ドローンでの共同防除を委託している。また、営農支援センター四万十(株)へWCSと大豆の作業委託を行っている。

【辻ノ川】支援センター四万十(株)へ大豆の農作業委託をしている。また、機械組合にて防除用ドローンで水稻の共同防除を行っている。

【本田】営農支援センター四万十(株)へ水稻の共同防除を委託している。

【小向・中ノ越】営農支援センター四万十(株)へ水稻の共同防除とWCSの作業を委託している。また、集落営農組織が畔塗り機の共同利用・作業受託を行っている。

【浜ノ川】営農支援センター四万十(株)へ水稻の共同防除と大豆とWCSの作業を委託している。

【平串・富岡】営農支援センター四万十(株)へ水稻防除とWCSの刈取を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

【床鍋】

- ①金網柵の設置や定期的な点検を行っている。
- ②たい肥の施用を行っており、化学肥料の低減に努めている。

【影野(上)】

- ①集落で金網柵の設置や定期的に点検をしている。また、老朽化しており更新が必要。

【影野(下)】

- ①鳥獣柵の設置を行っている。

【奥呉地】

- ①集落で鳥獣防止柵の設置や定期的な点検を行っている。
- ③近隣集落とともに任意の組織を立ち上げ、防除用ドローンの導入をしている。
- ⑤基本的には水稻や生姜などの品目を栽培していくが、今後管理の難しい農地に関しては栗やユズなどの果樹への転換を進める。

【魚ノ川】

- ①集落で鳥獣防止柵の設置や定期的な点検を行っている。
- ③近隣集落とともに任意の組織を立ち上げ、防除用ドローンの導入をしている。
- ⑤基本的には水稻や生姜などの品目を栽培していくが、今後管理の難しい農地に関しては栗やユズなどの果樹への転換を進める。

【下呉地】

- ①集落の内の農地へ金網柵の設置や定期的な点検をしている。

【替坂本】

- ①集落のほとんどで鳥獣柵や檻の設置を行っている。

【山株】

- ①集落の内の農地へ金網柵の設置や定期的な点検をしている。

【六反地】

- ①堰の周辺や川辺から猪が上がってくる。柵の補修が必要な個所がある。
- ②集落の一部にて水稻の特別栽培を行っている。
- ③防除用ドローンを導入して、周辺集落を含む水稻の防除を行っている。
- ⑨WCSを栽培している。

【神有】

- ①金網柵の設置や定期的な点検を行っている。

【辻ノ川】

- ①集落の農地へ金網柵を設置している。高速道路沿いの圃場で水路に土砂が堆積し、そこから猪が上がってきている。
- ②水稻を特別栽培で栽培している。
- ③機械組合にてドローンを導入し、水稻の共同防除を行っている。

【本田】

- ①集落内の農地へ鳥獣対策の金網を張っている。
- ②水稻で特別栽培を行っている。

【小向・中ノ越】

- ⑨WCSの作付けを行っている。

【浜ノ川】

- ①集落の農地へ鳥獣柵を設置している。一部で猪の被害がある。
- ②水稻で減農薬などの特別栽培を行っている。

【平串・富岡】

- ①集落の内の農地へ金網柵の設置や定期的な点検をしている。